

# 2021年2月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

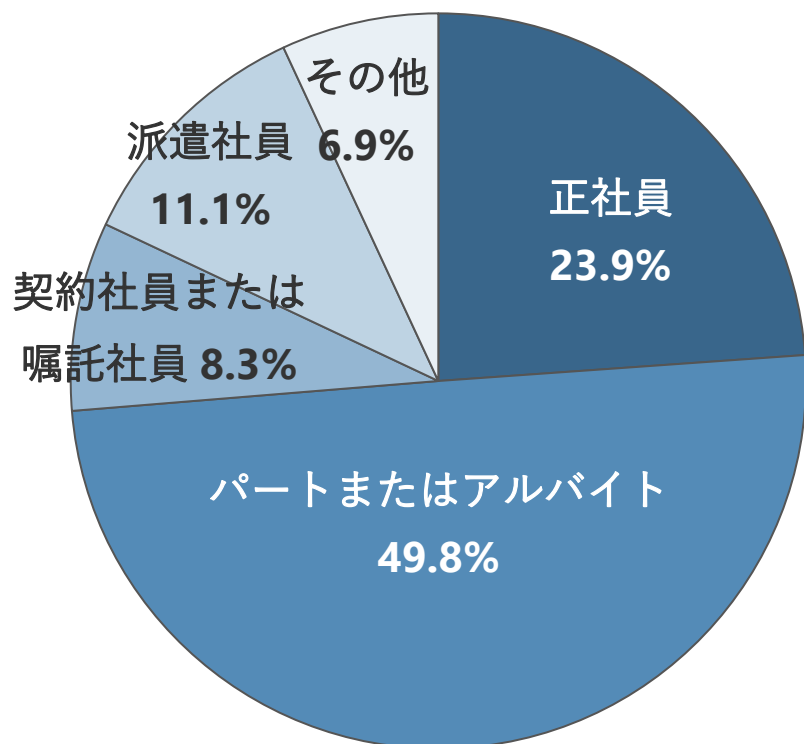
直近5年以内の選考・採用辞退経験がある割合は3割以上

株式会社アイデム  
東日本事業本部 データリサーチチーム

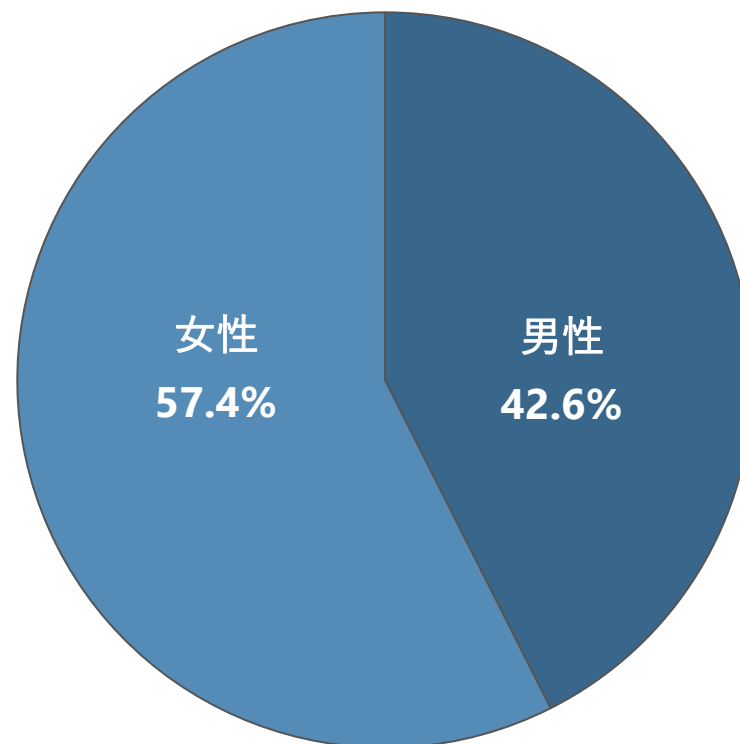
- 調査名
  - ▶ 【イーアイデム会員限定】 お仕事探しに関するアンケート
- 調査目的
  - ▶ 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる
- 調査対象
  - ▶ 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/02/01～2021/02/28の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人
- 調査期間
  - ▶ 2021/02/02～2021/03/05(32日間)
- 調査方法
  - ▶ インターネットリサーチ  
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)
- 有効回答数
  - ▶ 289件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

## 希望する雇用形態



## 性別



イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

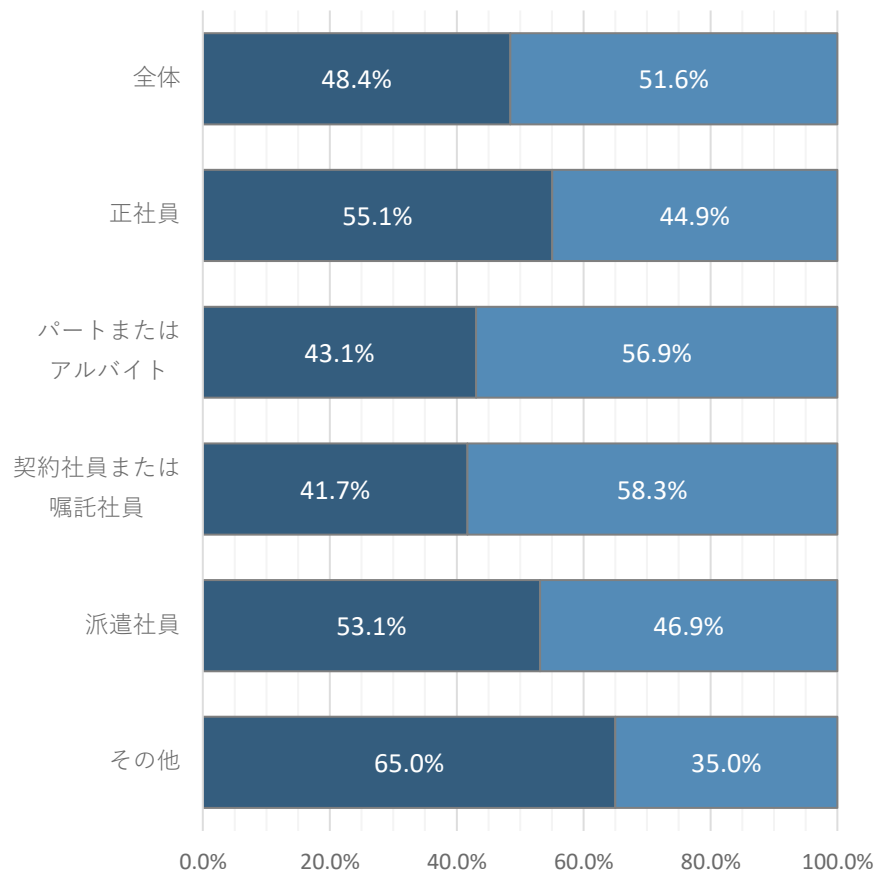
全体で48.4%が「はい」と回答し、約5割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。4月調査時と比較すると、61.8%から13.4pt減少しているが、前回調査時より2.1pt増加した。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「正社員」「派遣社員」では半数以上が「はい」と回答し、全体の数値より高くなった。

「パートまたはアルバイト」「契約社員または嘱託社員」希望の人は約6割が「いいえ」と回答し、感染症の影響を受けて活動をしている人が少なかった。

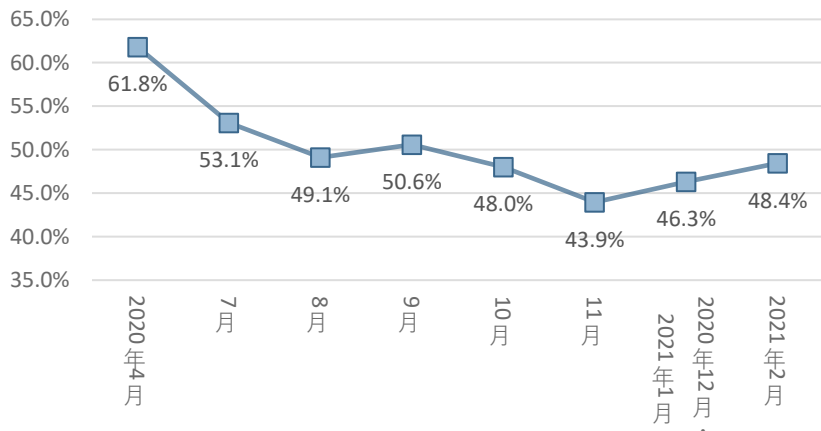
今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ



参考

新型コロナウイルス感染症の影響  
「はい」と回答した割合

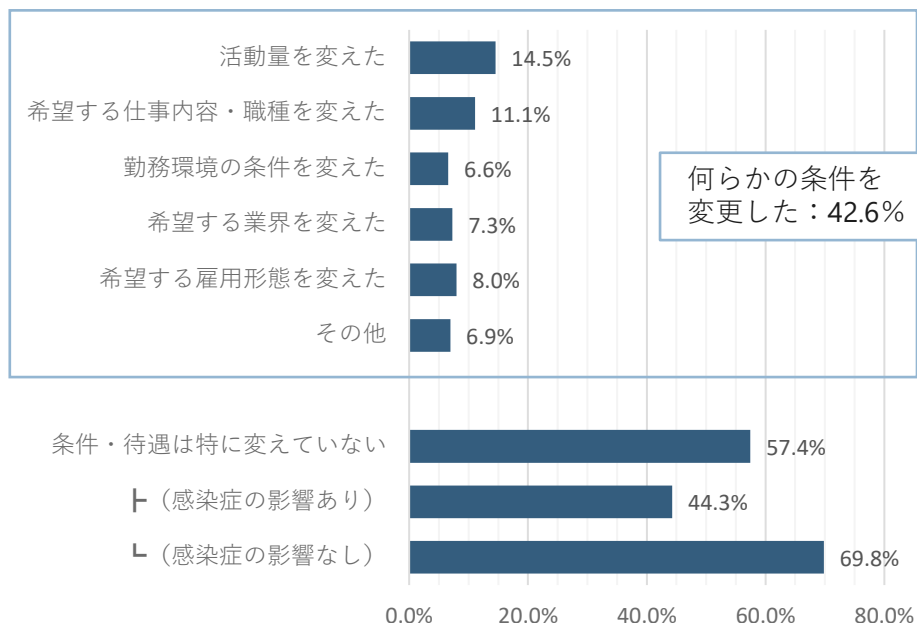


イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」42.6%、「条件・待遇は特に変えていない」57.4%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が約6割となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「活動量を変えた」で14.5%、次いで「希望する仕事内容・職種を変えた」が11.1%となった。副業を前提に、ダブルワークを目指す意見が多くなっていった。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.3%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（69.8%）より25.5pt以上低くなっており、何らかの条件を変更した割合が大きい。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



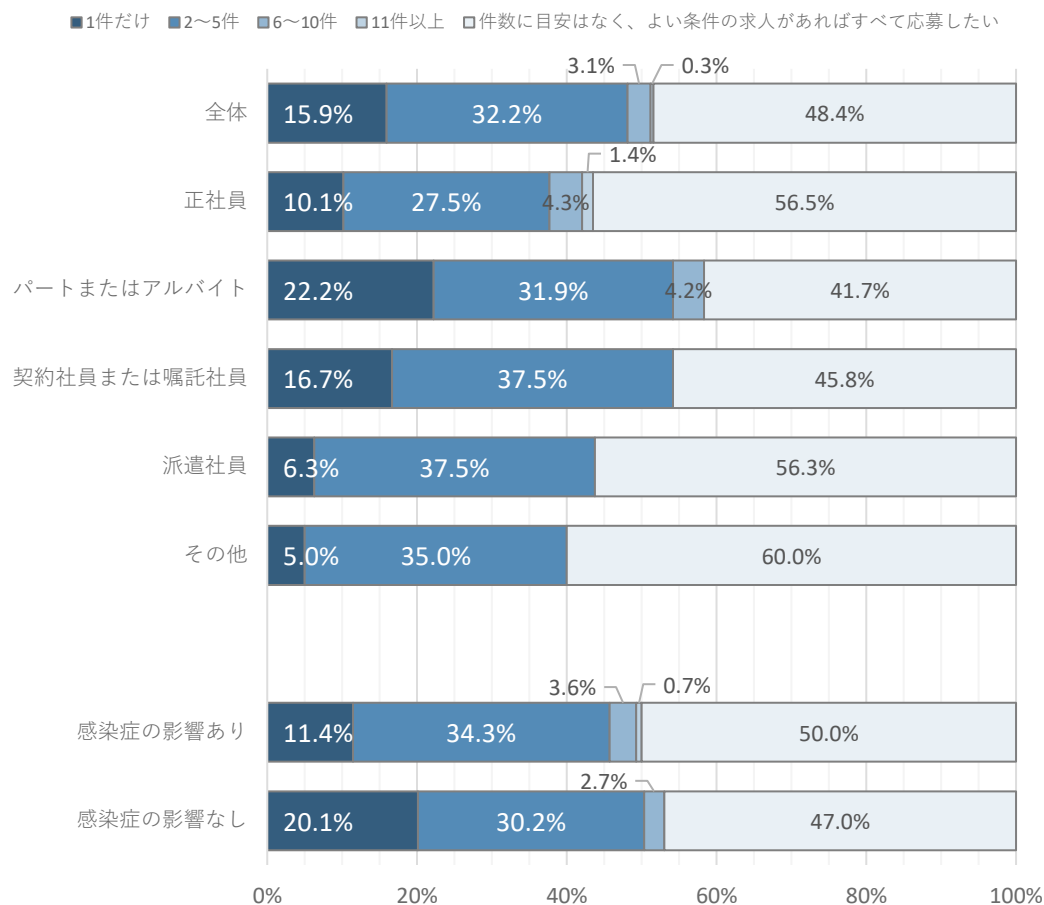
希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
パートまたはアルバイト	女性	20代	ダブルワークができるからこの雇用形態に変えました
正社員	男性	30代	正社員 アルバイト問わず希望の職種に応募した
正社員	男性	40代	前はドライバーのみを見ていたが倉庫業やリフトマンで条件があえばと思い転職条件は増やした
その他（無期雇用）	女性	40代	有期雇用より無期雇用を希望するようになった
パートまたはアルバイト	男性	50代	現在勤務している給与が減額されたため、Wワークしようと考えた。
契約社員 または嘱託社員	女性	60代	コロナ禍で職を失った人が多く、自分の希望する職種、条件でなくてもある程度妥協しても職に就きたい。

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く48.4%、次いで「2～5件」が32.2%、「1件だけ」が15.9%、「6～10件」が3.1%、「11件以上」が0.3%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合が56.5%と、半数を超える結果となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」と回答した人は「感染症影響なし」と回答した人よりも2件以上の応募を検討する割合が多かった。一方で、応募件数に目安を設けずに活動している割合は同程度の半数ほどとなった。

今回の求職活動期間の中で、  
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

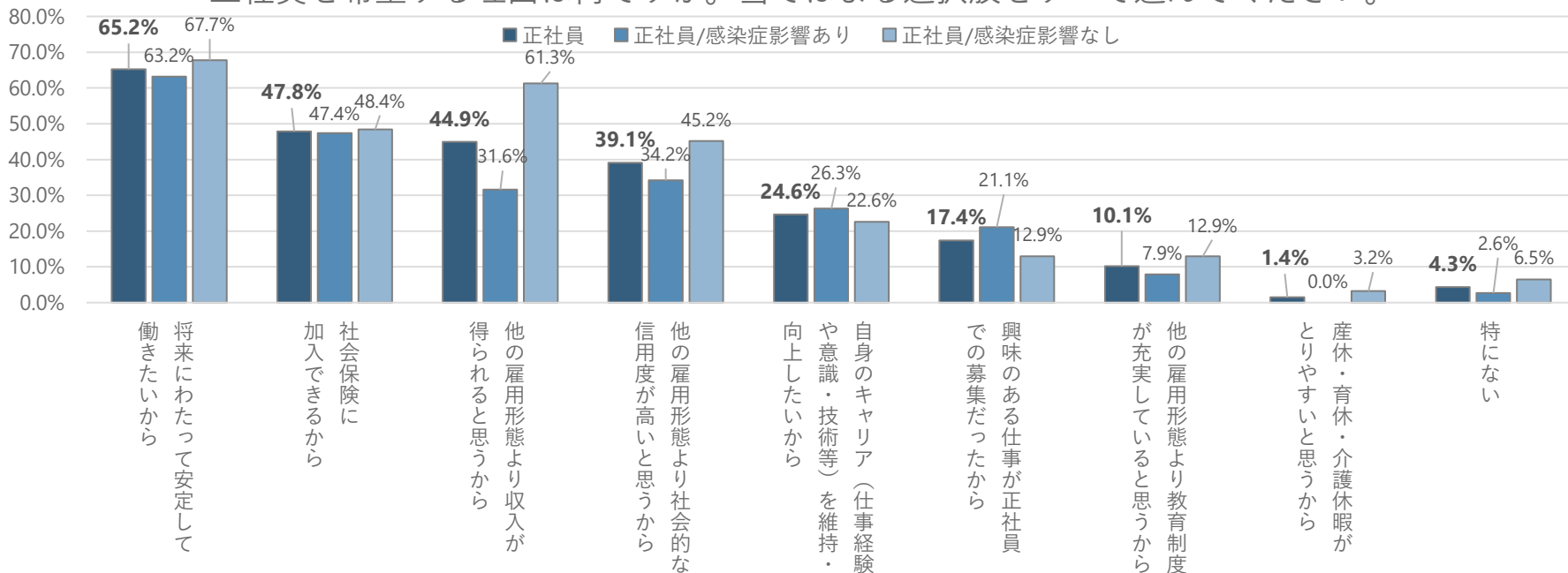


イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で65.2%、次いで「社会保険に加入できるから」が47.8%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が44.9%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「興味のある仕事为正社員での募集だったから」を選んだ割合が、「感染症影響なし」の人より8.1pt高かった。業務自体への意欲で仕事探しを進めている人が多い傾向がみられる。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人より「他の雇用形態より収入が得られると思うから」を選んだ割合が29.7pt高く、約2倍の割合となった。年度末は求人数が増えることもあり、積極的に収入アップを目指して活動する割合が高まっている。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



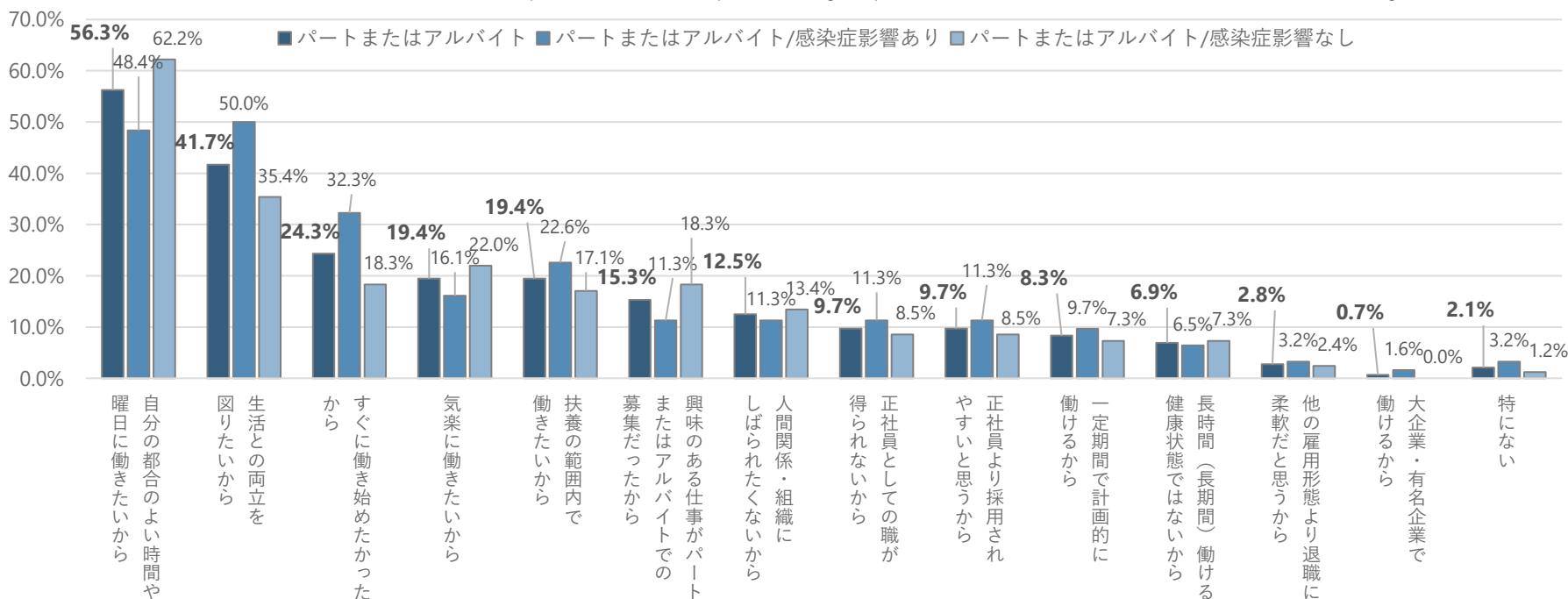
# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で56.3%、次いで「生活との両立を図りたいから」が41.7%、「すぐに働き始めたかったから」が24.3%となった。「すぐに働き始めたかったから」は昨年の8月以降の調査から4人に1人程度の割合が続いている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「生活との両立を図りたいから」「すぐに働き始めたかったから」が約14pt高くなっている。特に、「すぐに働き始めたかったから」が高い傾向は、2020年11月以降続いている。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が13.8pt高かった。「気楽に働きたいから」も5.8pt高く、負担の少ない条件で探している人が比較的多いようだ。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。





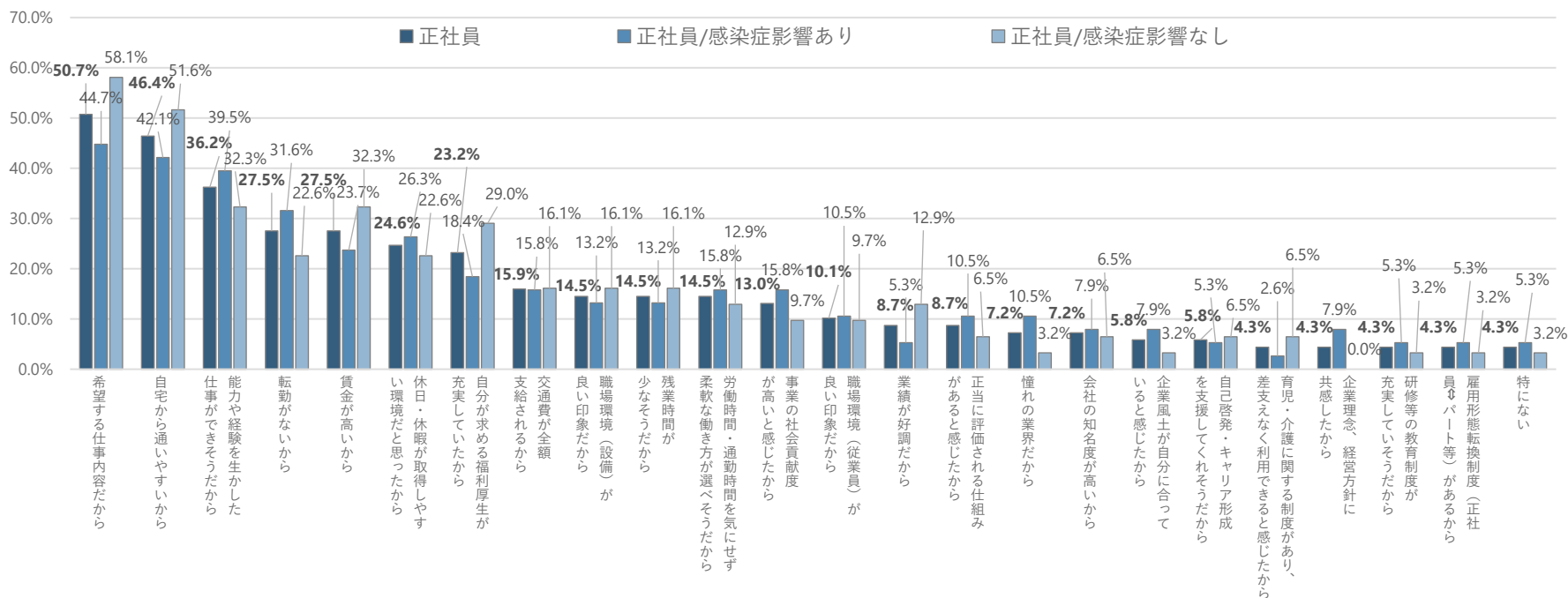
# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」の50.7%、次いで「自宅から通いやすいから」が46.4%、「能力や経験を生かした仕事ができるから」が36.2%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「転勤がないから」が9.0pt、「企業理念、経営方針に共感したから」が7.9pt高かった。拠点をなるべく移さずに、方針に賛同できる企業を探している傾向がある。「転勤がないから」が高くなる傾向は、2020年11月調査から続いている。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「希望する仕事内容だから」が13.4pt、「自分が求める福利厚生が充実していたから」が10.6pt、「自宅から通いやすいから」が9.5pt、「賃金が高いから」が8.6pt高かった。仕事内容と高賃金を重視する傾向は、前回調査（2020年12月～2021年1月）から続いている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

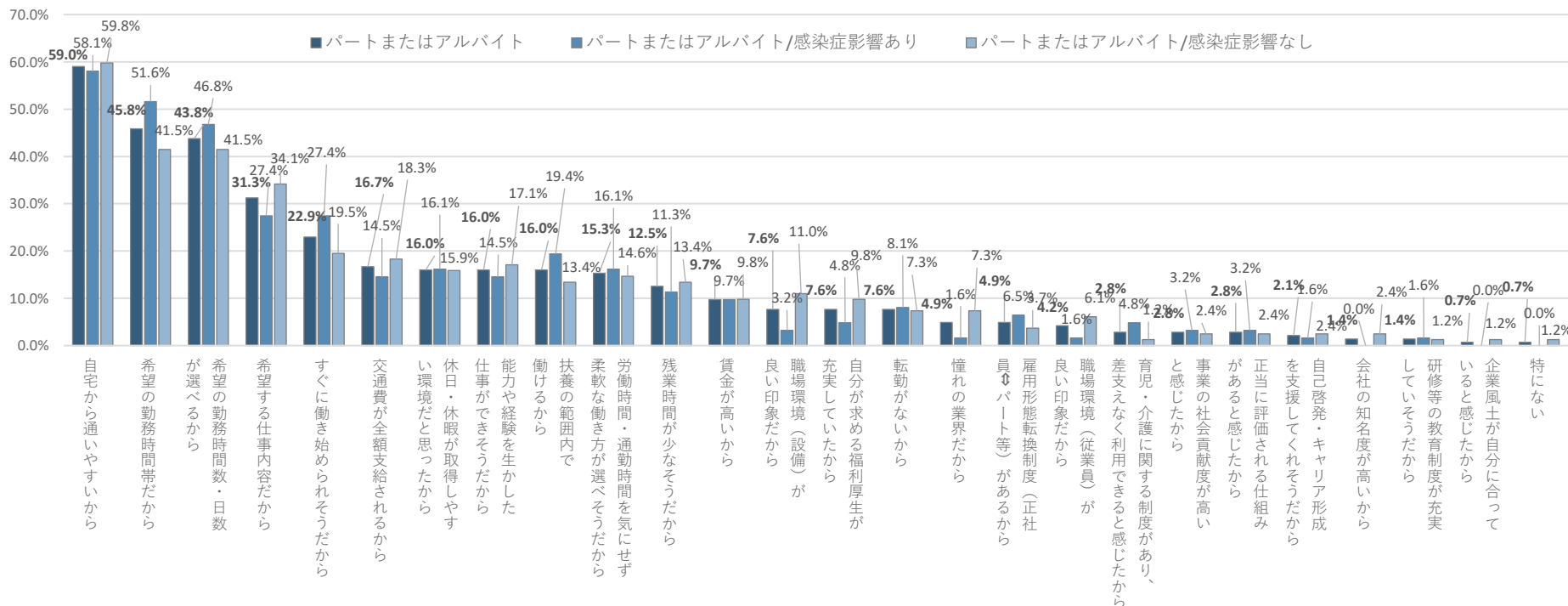
イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で59.0%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が45.8%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が43.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望の勤務時間帯だから」が10.1pt、「すぐに働き始められそうだから」が7.9pt 高かった。取り急ぎ働ける時間の仕事を探している人が多いようだ。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「職場環境（設備）が良い印象だから」が7.8pt、「希望する仕事内容だから」が6.7pt高かった。作業を進める場所での設備や扱う機器を気にかける人が多い傾向があった。

「賃金が高いから」「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」については、感染症の影響の有無で差はみられなかった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



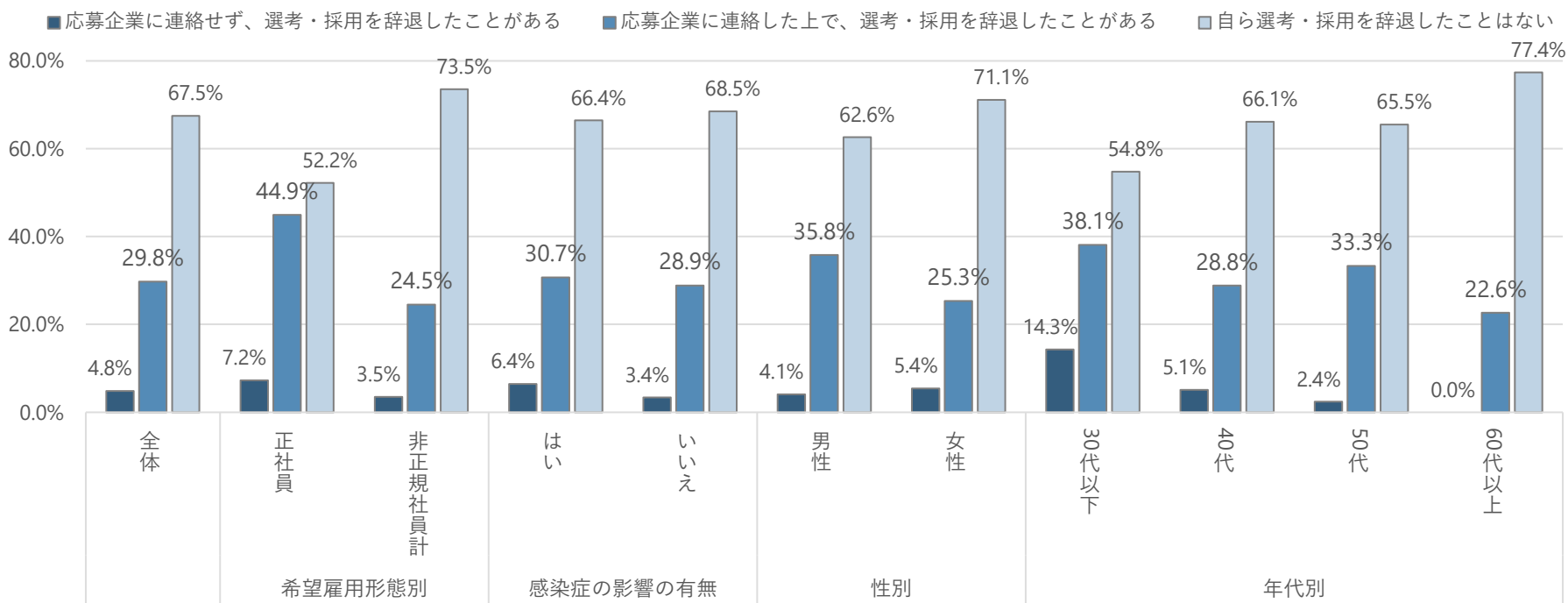
# 直近5年以内の選考・採用辞退経験の有無

イーアイデムから求人に応募した人に、直近5年以内の選考・採用を辞退した経験はあるか聞いた。全体では、「自ら選考・採用を辞退したことはない」が67.5%、「応募企業に連絡したうえで、選考・採用を辞退したことがある（以下、連絡あり辞退）」が29.8%、「応募企業に連絡せず、採用・選考を辞退したことがある（以下、連絡なし辞退）」が4.8%となり、辞退経験がある割合は3割を超えた。

希望雇用形態別にみると、「正社員」希望の「連絡あり辞退」は44.9%、「連絡なし辞退」は7.2%で、どちらも全体を上回っていた。辞退経験がある割合は約半数となった。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ辞退経験のない割合が高くなった。「30代以下」では「連絡なし辞退」が14.3%となり、他の年代よりも特に高くなっていった。「60代以上」では、「連絡なし辞退」の経験がある人はいなかった。

直近5年以内の就職活動または転職活動中に、以下のような経験はありますか。（複数回答）



# (選考・採用辞退経験者のみ) 辞退に至った事情

イーアイデムから求人に応募した人のうち、選考・採用を辞退した経験がある人へのみ、辞退に至った事情をきいた（複数回答）。

「連絡せず、採用・選考を辞退した」場合には、最も多かったのが「企業からの連絡が遅かったから」で50.0%、次いで「どうせ受からないと思ったから」が42.9%、「選考当日、行けなくなってしまったから」が28.6%となった。選考が進む可能性があっても、企業の反応によって自ら辞退を選択したとする回答が多かった。

「連絡した上で、選考・採用を辞退した」場合には、最も多かったのが「採用条件に折り合いがつかなかったから」で39.5%、次いで「他の企業で採用が決まったから」が36.0%、「応募後に企業に対する印象が変わったから」が30.2%となった。就業することを前提に真剣に検討した結果、辞退に至ったとする回答が多かった。

応募確認後の迅速な連絡や、求職者と気軽に連絡が取り合えるツールの導入など、企業側の応募者管理の工夫次第で解決できることも多そうだ。

(選考・採用を辞退経験者のみ) 辞退に至るにはどのような事情（理由）があったのでしょうか。（複数回答）

